

ニュース

全関労

2021年
4月14日
VOL. 48
No. 3

東京都台東区小島1-8-7

Zenkan1972@yahoo.co.jp TEL 03(38863)3433

全関東単一労働組合本部

2021メーデーを闘おう

- ★非正規・女性差別撤廃！
- ★時給1500円を！
- ★「会計年度任用職員制度」反対！
- ★首切りやめろ！
- ★「働き方改革」打ち破ろう！
- ★解雇自由化反対！
- ★命と権利を奪う新型コロナ感染症対策反対！
- ★8時間労働制の再確立を！
- ★戦争と改憲反対！

4.30

松戸地域メーデーへ

反戦・国際連帯で闘おう

5月1日は全世界の労働者が国際連帯で闘うメーデーだ。1886年5月1日、アメリカの労働者は「8時間労働制」を要求してゼネラル・ストライキで立ち上がり、命がけで闘いとつた。1889年の第2インターナショナル（国際社会主義者大会）創立大会は、翌年5月1日に「8時間労働制」を要求するゼネストを呼びかけ、国際連帯闘争日とした。以降、毎年世界各地でメーデーが闘われている。

日本では1920年5月2日、「失業の防止・最低賃金制の確立・8時間労働制・シベリア即時撤兵等」を要求して第1回メーデーが取り組まれた。しかし1936年には「戒厳令」が敷かれ、その後「産業報国」を理念とする翼賛運動が推し進められた。その中でほとんどの労働組合・労働者が侵略戦争に加担していった痛苦な歴史と責任がある。したがって、メーデーは労働者の基本的権利を闘いとする国際連帯闘争日であるとともに反戦国際連帯闘争として極めて重要である。

労働者市民に犠牲を転嫁する

新型コロナウイルス感染症対策をゆるすな

今、新型コロナウイルス感染症が世界を席巻している。この間、安倍―菅政権の新型コロナウイルス感染症対策はその犠牲を労働者市民に転嫁するだけであり、「東京五輪」開催

を主眼に経済（独占資本）最優先で推し進められている。その結果、多くの労働者が失業や解雇に追い込まれ、命まで奪われている。こうした状況下で憲法改悪と日米安保体制強化を推し進め、新たな戦争天皇制国家に踏み出そうとしているのだ。

「働き方改革」を打ち破り

首切り自由を阻止しよう

そして労働者から搾取と収奪を強化する「働き方改革」を推し進めている。ILO専門家委員会から勧告が出されている非正規公務員労働者の労働基本権剝奪の「会計年度任用職員制度」、非正規労働者の低賃金・クビ切り自由の拡大・固定化を強化する「パートタイム・有期雇用労働法」制定など労働法制全面改悪が目論まれている。低賃金・無権利の外国人労働者移入を拡大し、人権侵害、使い捨てを強化している。

「会計年度任用職員制度」反対

松戸市医療センターによる首切り弾劾

松戸市立総合医療センターでは、今年3月末日、会計年度任用職員制度による組合つぶし、准看差別の雇止め解雇を強行した。新型コロナウイルス感染症対策では院内感染がおころうとも医療労働者にPCR検査をおこなわず、命よりも利

益を優先している。私たちは、非正規差別・女性差別撤廃・
有期雇用・会計年度任用職員制度廃止！全国一律最賃150
0円を掲げ、4・30松戸地域メーデーを闘う。

8時間労働制の再確立を

戦争反対・憲法改悪を阻止しよう

今こそ世界の労働者の闘いに学び、連帯して、長時間・
過密労働を廃止して8時間労働制の再確立、全国一律最低
賃金時給1500円をかちとろう。労働者階級の解放をめ
ざし、差別と貧困、差別と排外主義の戦争と改憲阻止を闘
おう。菅政権を打倒しよう。

4・30松戸地域メーデー

◆ 4月30日（金）

* 10時

松戸市総合医療センター
抗議申し入れ行動

* 12時15分

松戸市役所前情宣と

* 13時

松戸市長申し入れ行動

* 14時デモ行進

小根本公園へ移動
松戸市役所近くで流れ解散

組合つぶしの雇止め解雇をゆるさない！

松戸市立病院分会

松戸市立総合医療センター（病院）は、今年3月末、会計
年度任用職員制度導入1年目で組合員をはじめ会計年度任
用職員3名を雇止め解雇した。

組合は、組合員の解雇撤回・職場復帰の団交を申し入れ、
職場や市民、患者に対する情宣と署名活動に取り組んだ。「働
き続けたい」との組合員の要求に対し、第1回目の団交で、
病院は「持ち帰って検討する」と回答した。しかし、病院は、
「指示に従わなかった」とか、誰にでもあるようなミスをこ
とさら取り上げて「選考漏れ」の理由にしていた。また診療
報酬増を図る目的で組合員他1名の准看護師を正看護師に
置き換えるという准看護差別排除の解雇であることが明らか
になった。

30年もの長期にわたり契約更新を繰り返して働いてきた
組合員は、無期雇用転換の申し込みを先頭で担ってきた。そ
の後会計年度任用職員制度導入に際し、フルタイムパートか
ら短時間勤務への移行に際してフルタイムパート労働者全
員の「現給保障」をかちとった。こうした非正規差別と闘う
組合をつぶすために、病院は唯一公然組合員を狙い撃ち解雇
したので。組合員は「こんな制度はなくしてほしい」と言い
ながらも退職を余儀なくされた。

雇止め解雇を合法化し、非正規女性労働者をさらなる使い
捨て可能な存在に落とし込める会計年度任用職員制度は廃
止するしかない。団結して廃止まで闘おう。

過重・過密労働をなくすために人員増を

大橋病院分会

組合は、新病院移転時に病棟看護補助労働者の配置人員数を削減したことによる過重・過密労働をなくし、患者・労働者の安全確保のために病棟看護補助労働者の人員要求をしてきた。職場では、看護補助労働者から「日勤帯で人を入れてほしい」「夜勤看護師も足りない」との声があがっていた。

東邦大学医療センター大橋病院は、昨年11月、新型コロナウイルス感染症対策による「赤字解消」のためとして、「急性期夜間看護補助加算」の取得、すなわち看護補助労働者の23時までの夜勤（準夜）勤務を派遣で導入したいと提案してきた。

組合は、夜勤帯での過重労働をやめ、日勤帯の人員補充をおこない、派遣の導入をやめるよう要求を突きつけたが、法人は、「人員は増やせない。人件費がかかる」と現場の過酷な労働実態を一切無視し、3月に派遣契約を強行した。

大橋病院看護部長は、職場の要求を封じ込めようと夜勤看護補助者の導入スケジュールを「決定事項」として説明するなど組合否認の態度をとった。組合はこうした病院のやり方に抗議し、派遣看護補助労働者による夜勤（準夜）勤務導入に強く反対したが、病院は新たな勤務体制を強行実施した。

3月末、新型コロナウイルス感染が発生した際も緊急時に対応できる人員が圧倒的に不足していることが明らかになった。安心して働ける職場、安心してかかれる病院にするために、団結を固めて人員増要求の声を引き続きあげていきたい。

ワクチン接種強制反対を申し入れ

地域分会介護職場

2月17日から新型コロナウイルス感染症予防接種（以下「ワクチン接種」）が行なわれ、医療従事者に続き、4月12日からは65歳以上の高齢者への接種が実施されている。

今回のワクチンは新テクノロジーで作られた「核酸ワクチン」であり、安全性、有効性が十分検証されないまま行なわれている中で法人に対してワクチン接種を強制しないよう以下の申し入れを行い、取り組みを進めている。

◆
1. インフルエンザ予防接種と同様、利用者及び職員に対し、ワクチン接種を推奨または強制しないでください。法人及び事業所による推奨は、利用者及び職員にとつては事実上の強制となる恐れがあります。

2. 利用者及び職員に対し、ワクチン接種に関わるお知らせや要請などを発信する際は、ワクチン接種をするか否かは本人の判断（自由意志）である旨を明記または明示してください。

3. 利用者及び職員がワクチン接種をしないことを理由に、施設利用上または勤務上、不利益な取り扱いをしたり、またはその旨を示唆するなどしないでください。

4. すでに昨年10月14日付「世田谷区PCR検査（社会的検査）実施に関わる申し入れ」などで申し入れている同社会的検査を該当事業所において速やかに実施するよう手続きを進めてください。

以上